

体験型観光 ほんまもん体験のすすめ

観光コーディネータ・和歌山ほんまもん体験倶楽部 事務局長 とね ひろし 刀根 浩志

1. 地域づくり方針・目的

- ・ 住民の自信と誇りの回復「地域再生」「都市と地方の役割分担」
- ・ 新規雇用の創出、Uターン者への環境と生活基盤整備
- ・ 伝統産業の技と文化の継承
- ・ わがまち遺産再発見と整備、自然環境保護、景観整備、国土保全

2. 取り組み内容

- ・ 地域の地場産業や一次産業を柱とした心の交流を生み出す交流人口拡大
- ・ 交流から生まれる物流は信頼の証。IT を活用した産直マーケットの開拓
- ・ 旅の目的作り

3. 苦労点・達成度数

- ・ 観光というカテゴリーから提案すると失敗する。
- ・ 地域行政や既存の組合、各団体の考え方や互いの確執を融和させるまでと変化できる組織に導くまで
- ・ 素材発掘と人材の確保（わがまち遺産の価値と存在の周知）

4. 効果・反響

- ・ 体験利用者人数 H17年延べ18万9千人 教育旅行・修学旅行（来年度20校を予定）
- ・ 官民の強い一体感
- ・ 住民の意識の変革
- ・ 浸透率の高い経済効果と波及効果
- ・ 産業コラボ（一次・二次観光+サービス 観光業）
- ・ 新規雇用、季節雇用の創出（兼業者からの声「ながら所得」）
- ・ 生き甲斐とやりがい
- ・ Uターン者が地域にとけ込む機会となった

5. 今後の課題

- ・ 情報の受発信整備 プロモーション
- ・ 体験観光施設への導線、誘導、サイン計画
- ・ 新規体験プログラムの開発
- ・ 体験リーダーや交流人材、ガイドなどの育成と地域コーディネータの要請
- ・ 事業者間の交流と情報交換の場づくり
- ・ 総合的な観光案内の設置と運営費、営業活動費の確保

和歌山県

ほんまもん体験のすすめ 「体験型観光がもたらしたも の」

和歌山 **ほんまもん体験** 体験倶楽部
事務局 刀根浩志

紀伊半島(和歌山)は高野山や熊野三山に代表されるように、古来より人々の心の源郷として、その精神文化のよりどころとなってきました。

そして2004年「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界文化遺産として登録され、地域本来の魅力として受け継がれてきた「癒し」の地、そのふところとなる大自然に加え、本事業が担うもの「住む人との交流」が「静」と「動」の新たな観光を創造し、今後も地域全体がさらなる進化を遂げたいと考えます。

和歌山ほんまもん体験倶楽部

1 地域づくり方針・目的

- ・地域再生 あきらめない地方 の知恵
- ・新規雇用の創出
- ・伝統産業の技と文化の継承
- ・わがまち遺産発見と整備

2 取り組み内容

- ・地域の地場産業や一次産業を柱とした心の交流を生み出す交流人口拡大
- ・交流から生まれる物流は信頼の証。ITを活用した産直マーケットの開拓
- ・旅の目的作り

3 苦労点・達成度数

観光というカテゴリーから入ればと失敗。

- ・地域行政や既存の組合、各団体の考え方や互いの確執を融和させるまでと変化できる組織に導くまで
- ・素材発掘と人材の確保（わがまち遺産の価値と存在の周知）

和歌山県における体験交流型観光推進事業

- ・ ドキュメント
- 99年 「南紀熊野体験博」開催 体験プログラム実施
- 00年 民間における体験観光ネットワーク
「熊野コミュニケーションズ」設立(三重、奈良、和歌山)
- 01年 和歌山県観光局が体験型観光を推進
南部地域において97種のプログラムを展開
- 02年 民間組織「和歌山ほんまもん体験倶楽部設立」
コーディネート機能を持つ総合窓口を目指す
- 同年 本格的に誘致活動開始
全県289種のプログラムを展開 現在に至る

4 効果・反響

体験利用者人数H17年延べ18万9千人
教育旅行(来年度20校を予定)

- ・ 官と民の強い一体感 住民の意識の变革
- ・ 浸透率の高い経済効果と波及効果
- ・ 産業コラボ(一次・二次観光+サービス 観光業)
- ・ 新規雇用、季節雇用の創出「ながら所得」
- ・ 生き甲斐とやりがい発見
- ・ UIターン者が地域にとけ込む機会となった

体験や観光は手段であり、目的ではない。
地域の見直しと町づくりが結果として観光
につながり地域力を向上させ相乗効果を生んだ。

5 今後の課題と目標

情報の受発信整備 プロモーション

- ・ 現地誘導、サイン計画
- ・ 新規体験プログラムの開発
- ・ 体験リーダーや交流人材、ガイドなどの育成
と地域コーディネータの要請
- ・ 事業者間の交流と情報交換の場づくり
- ・ 総合的な観光案内の設置と運営費、営業活動
費の確保

観る旅からとけこむ旅への提案 地域の基幹産業として 技と文化の伝承



熊野古道

高野山

那智の滝

「静」

「動」



「癒し」



END